

1 日時 令和4年12月9日(金) 午後3時から午後4時50分まで

2 場所 徳島県立富岡西高等学校 百周年記念館

3 会次第

(1) 学校長あいさつ

(2) 自己紹介

(3) 本校からの説明・協議

①学校運営について

新見校長が、「富西未来委員会(提言)」をもとに学校運営について説明。

②生徒の授業評価アンケートについて

白草教務課長が、令和4年7月・11月に実施した生徒の授業評価アンケートについて説明。

③夏休み以降の部活動等の結果について

白草教務課長が令和4年度夏休み以降の部活動等の結果について説明。

④進路実績について

長瀬進路・情報課長が令和4年度の取組と12月現在の進路状況について説明。

⑤校舎長寿命化事業について

春木事務課長が、本校の改修工事について、工事の進捗状況や安全対策等について説明。

⑥スクール・ポリシー等について

宮本千教頭が、本校のスクール・ポリシーについて説明。

⑦本校の特色化・魅力化づくりに向けて

宮本千教頭が、本校の特色化・魅力化を促進するために、富岡西高校の良さ(強み)や本校に期待していることについて運営協議会委員に意見を求める。

⑧各委員からの助言等について

(ア) 保護者の立場から見ると、富西は勉強面ではとても頑張っているように思える。社会に出てリーダーとして活躍していくために、人間性を育ててほしい。そのために、もっと地域の人と身近に触れ合う機会があればよい。近隣の高校との交流など、生徒主体で活動できる場があればよい。

(イ) 人間力を高めるためにコミュニケーション能力を付けることが大切である。スクールポリシーの中にそれが入っているのでよいと思う。

(ウ) ヘルメットの着用義務化や生徒の上履きの変更などによって、「安全」という視点で富西をアピールしてもよいのではないか。

(エ) 入学した生徒の学力をきちんと伸ばせているということをデータで示すことが大切である。

(オ) 「豊かな人間性」が富西の強みである。推薦入試に強いことも、その表れである。

(カ) S S Hの取組で人材育成していることをアピールすることが必要である。

(キ) 富西OBの方の富西愛は強い。もっと地元の中学校の先生方とコンタクトを取って、富西をアピールしていくことが必要だ。

(ク) 令和7年度入試に向けての取組はどうなっているか。例えば「情報」や「公共」など新科目を教育課程にどのように組み込んでいくのかなど。

(ケ) 生徒たちは予測不能で変化する時代を生きていくことになる。その中で、自分で考える力や多様な人々と協働していく力が必要となる。困難を乗り越え、新しい価値を生み出すために、自ら問いを立てる力、世の中のニーズに対応する力を付けてほしい。

(コ) 学校の「魅力化」ということが必要である。教育は人である。子どもたちとの関わりを深め、魅力を感じる学校をつくることが大切だ。

(サ) 生徒に付けたい力としては、粘り強く考える力、コミュニケーション能力に支えられた協働力、社会貢献していこうという志。大学入試が多様化しているということは、点数だけが大事ではないということの表れである。

(シ) 理数科やS S Hなど、理系の好きな子どもたちを育てる場として頑張してほしい。

(ス) S S Hの中間評価について具体的に説明してほしい。

(セ) 進路実績について、入学してきた生徒たちを頑張って伸ばしているところは評価できる。教員が頑張っていることは生徒たちにも伝わっている。校舎が古く、改修工事を行っていることは近隣校と比べてハンデかもしれないが、それにもかかわらず来てくれた生徒を伸ばすことは頑張りがいのあることだ。

(4) その他

(5) 校長 お礼あいさつ